



平成29年(2017年)

1/1

第1426号

市報

こだいら



謹賀新年

ぶるべー



携帯電話用



スマートフォン用



オリンピック・パラリンピック
東京大会へ向けて……………4・5面

ふるさとの新聞元旦号展……………7面

こだいらちょっとむかし……………8面

迎春



「着物で日本文化体験ツアー」の平櫛田中彫刻美術館庭園での一幕です。華やかな着物をまとった外国人参加者たちは、小平茶道華道友の会の皆さんから茶のおもてなしを受けました。



年頭にあなたって

新年明けましておめでとうございます。
今年も皆様にとりましてすばらしい年になりますよう、ご祈念申し上げます。
昨年は、イギリスのEU離脱、米国での新大統領誕生など、世界では、さまざまなる出来事がありました。今後、各国の指導者たちには、地球規模の建設的な議論や展開を期待しております。



小平市長
小林 正則

さて、小平市では第三次長期総合計画を基本とし、各個別計画などで成果指標を定めて施策を推進して、さまざまな行政課題に柔軟に対応してまいりました。少子・高齢化社会でも、厳しい局面を正面から見据えて、チャンスと捉え、参加・協働・自治を踏まえ、行政の担い手を多様化しながら、変革に耐えられる市政運営を目指します。健康で地域自治の最前線で活躍していただくため

ぬよう、財政健全化にも全力で取り組み、後世にも誇れるまちづくりを進めます。
喫緊の課題である女性の社会進出の後押しと若い世代の受け入れ策として、来年度7か所の認可保育園を新設し、また、市の魅力を高めるため、小川駅西口、小平駅北口再開発に道筋をつけたいと考えております。
将来の予測が困難で不透明な時代ですが、本年も「前へ、前へ」の精神で全力で取り組んでまいりますので、皆様のご支援とご指導をお願い申し上げます。年頭のあいさつとさせていただきます。



小平市議会議長
宮寺 賢一

新年明けましておめでとうございます。
日頃から小平市議会に対して格別のご理解とご協力を賜り、市議会を代表し厚くお礼申し上げます。
昨年は大隅良典東京工業大学栄誉教授がノーベル生理学・医学賞を受賞するなど明るい話題がありました。

しかし一方では、熊本県や鳥取県で大規模な地震が発生し、地域に甚大な被害を及ぼしました。犠牲になられた方々に謹んで哀悼の意を表しますとともに、被災されたすべての方に心からのお見舞いを申し上げます。これまで市議会におきま

しては、平成26年3月に施行されました議会基本条例に基づき、市民の皆様との意見交換会を重ねるとともに、委員会ごとに設定したテーマについて政策提言を
また新たな試みとして、本会議の傍聴席に手話通訳者の配置をしたり、専用の受信機などを使用して音声を取りやすくする磁気ループシステムを設置しております。
今後とも、市民の皆様にとって身近で開かれた市議会となるよう努めるとともに、議会の改革や活性化に取り組み、市政の発展のために尽くしてまいります。
結びに、本年が皆様にとりまして幸多き一年となりますようご祈念申し上げます。新年のあいさつとさせていただきます。

